政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 落合 寛司：西武信用金庫理事長

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(6月下旬から7月上旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		前回と変動なし
1-2	今後の経済のリスク要因（第1回時点と比較して変化がある場合）、あるいは将来への新たな期待要因について、300字以内でご記入ください。	―	
経済再生と両立する財政健全化			
2	財政健全化に向け、歳出削減等を始めとして様々な取組が考えられますが、具体的取組内容についてのお考えを300字以内でご記入ください。	―	①年齢による定年から能力による定年制の導入（高齢者の活躍の場を拡大）し、現役高齢就業者に年金受給の選択制を導入（必要性の無い年金が多く支払われているのでメリットを持たせ本人の受給権を相続財産とする）②能力による定年の延長により心身ともに健康が保たれ無駄な医療費の削減に貢献（医療費に対しては、ジェネリック薬の活用促進等もある）③建築物の耐用年数の見直し（成熟社会の欧米のように耐用年数を見直し延長すことにより社会インフラの更新コストの削減や経済ロスの削減に貢献）④補助金の実効性を上げるため期間や金額・支給方法等の見直しが必要と思われる。

政策コメンテーター報告（第2回、意見照会期間：2014年9月24日～10月6日） 落合 寛司：西武信用金庫理事長

質問事項		選択式回答	記述式回答
女性の働き方に中立的な税制・社会保障制度等の在り方			
3－1	どのように女性の働き方に中立的な社会制度を実現していくべきとお考えか、その理由とともに300字以内でご記入ください。	－	妻の収入制限が女性のフルタイム勤務の障害の大きな要因になっているので収入制限額（103万円・130万円）を段階的な増額の方向で見直し、腰掛的な社会進出にならないようにすべきである。 公務員と民間の差が有ることにも違和感を感じる。
3－2	女性の働き方に中立的な制度を論じるに当たって、その背景にある事項（女性が働くことへの人々の意識や職場慣行、男性の働き方、子育て支援等の環境整備、家族のあり方等）について、特に言及すべきことがありましたら300字以内でご記入ください。	－	女性の社会進出の拡大を実施する中で、アメリカのベビーシッターのように幼児期の育児支援体制の強化や在宅勤務の活用拡大等を早急に実施しないと、女性の真の社会進出が達成できなくなると考える。 また、前述の態勢を強化し、わが国の大きな課題である少子化の悪化傾向につながらないように態勢を整えることが重要である。